



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



先生たちが一番緊張する日？



「10月10日学事訪問」でした。学事訪問とは、教育長を始め、教育委員会の先生方か米校長、
「どんな先生がいて、どんな頑張りをしているか」を見るため全員の授業を見て回られます。また、
書類等を見て、「必要な書類がきちんと整理されているか」など点検されます。

つまり、ある意味「先生たちの日ごろの教育への取組や成果」を評価される日なわけです。これは緊張しますよねえ（笑）、と笑ってはいけません、大切な日なのでから。

さて、先生たちはどんな思いでこの日を迎えたのでしょうか。その授業の様子をレポートしてみましよう。

5校時と6校時、全ての先生方の授業にお邪魔しました。歌あり語りありタブレットありディベートありトリックアートあり、と盛りだくさんの、雰囲気の良い授業がどこでも展開されていました。教育委員会の先生方も生徒の授業受ける様子に感心されていました。

授業は、先生と生徒の関係性が、大きくその成果を左右します。その点は、伊里中学校はバッチリ！のようで、嬉しい限りです。

生徒下校後の全体会も、備前市の教育の今後について、大いに意見の交流がなされました。頑張っています伊里中学校、サポートしてくださっています備前市！



音楽の授業は、ピアノの周りに集まって「島唄」を熱唱中。思わず歌詞を間違え「しまったあ〜」。



ズラリと後に並ぶ教育長始め教育委員会の先生方。これは教壇の先生もプレッシャーの極致だ！



保健体育は、思春期の心と身体の変化の授業でした。いわゆる性教育です。これもICTで。



タブレットを使って、ディベートする国語の授業。超激論してました。俺もやりたかったあ〜。



数学です。ネットで赤穂線のダイヤを調べています。これを一次関数につなげていきます。



国の特徴を教えるのに、サリーを着てコスプレで授業？先生も体を張ってるんです！



理科では「錯視」の実験を。これには委員会の先生方もハマってしまい、「見えない～」と悶絶されておりました(笑)。



これぞ「ザ・理科室」。堂々とそこにありましたので思わずパチリと人体模型くんをご紹介します。



全体会の様子です。杉浦教育長、高橋教育委員と協議の場です。やや時間オーバーするくらい熱心な協議でした。



ジグソー学習法って知ってます？

学校訪問の授業とかぶせて、園定先生が1年生で国語の研究授業を行いました。この授業のポイントは「ジグソー学習法」です。

「ジグソー学習法」とは、従来の学びと違い「対話」を通して自らが主体的に学んでいくアクティブラーニングにも繋がる方法です。

ここでは、各班内で「母の悲しみ」「僕の悲しみ」「その他の人の悲しみ」を考える「専門家」に分かれます。そして、各班の専門家が集まり、その気持ちについて考え話し合いをします。その後、そこで得た「学び」を、各班に持ち帰り他のメンバーに教えます。

自分が責任をもって学ばねば、他のメンバーの学びとなりません。伝えるためには表現力も必要です。そしてうまく伝われば「自己有用感」も育ちます。主体的に学び、表現力も身につけていく、これから重要視されるであろう学習方法です。1年生たちは、とても熱心にアクティブに学習できていました。



保健師実習で亀川先生来たる



19日から21日までに3日間ではありますが、本校卒業生の、亀川裕美子さんが、保健師実習に本校に来られています。助産婦さん、保健師さんをめざす亀川先生ですが、これからは「チーム学校」とも言われる時代に入っていく、学校と保健師さん等の連携がとても重要になります。そのため、学校現場の実態を知り、今後役に立てるための実習です。基本的に保健室の小田先生について研修しますが、クラスは2日で、給食など一緒に食べて活動します。

目的意識や意欲をしっかりとった先生で、話してみてもその意識の高さに感心しました。思春期の子どもたちの現状や危険性、その対応に必要なことなどもよく勉強されていました。将来は地元に戻って保健師として働きたいという希望をもたれています。ありがたいことですね。

写真は、生徒がケガをして保健室に来たらどう対応するか、という場面の演習(やらせではありません、演習です：苦笑)のシーンです。みなさんもしっかり交流してみてください。

お詫び

18日、1日出張だったため、玄関にこの日から再開された「あいさつ運動」のファイルの準備を忘れておりました。18日に当番でお越しくださった方には、大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。